

校長	教頭

令和3年度 数学「数学Ⅰ（1年）」 シラバス

教科名：数学	科目名：数学Ⅰ
使用教材：改訂 新数学Ⅰ（東京書籍）	単位数：3単位
履修学年：1年	履修学科：全学科
担当：新垣節子 本振一郎 平良樹	

教科目標

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目目標

数と式、2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

本学年の学習概要

1. 数と式

数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。

2. 2次関数

2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。

評価の観点及び方法

観 点	到 達 目 標	評 価 方 法
関心・意欲・態度	数と式、2時間数における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	出席状況 授業態度、発表 授業プリントや ノートの状況
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	練習問題 定期考査 小テスト
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解	数学における基本的な概念、原則・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

授業展開

食料生産科と生物資源科を習熟度の3展開、環境創造科と生活デザイン科を習熟度の3展開、食品加工科を習熟度の2展開を実施

学習方法

授業の内容をしっかりとノートやプリント等に記録し、学習内容を理解すること。

家庭学習では教科書の基本問題をくり返し復習することによって理解し、応用問題にも挑戦する。

校長	教頭

令和3年度 数学「数学Ⅰ（2年）」 シラバス

教科名： 数学	科目名： 数学Ⅰ
使用教材：改訂 新数学Ⅰ（東京書籍）	単位数： 2単位
履修学年： 2年	履修学科： 全学科
担当： 新垣節太郎、吉本振一郎、平良樹	

教科目標

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目目標

三角比、集合と論証、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

本学年の学習概要

- 三角比
三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- 集合と論証
集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。
- データの分析
統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

評価の観点及び方法

観 点	到 達 目 標	評 価 方 法
関心・意欲・態度	図形と計量、集合と命題及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	出席状況 授業態度、発表 授業プリントや ノートの状況
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	練習問題 定期考査 小テスト
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

授業展開

食料生産科と生物資源科を習熟度の3展開、環境創造科と生活デザイン科を習熟度の3展開、食品加工科を習熟度の2展開を実施

学習方法

授業の内容をしっかりとノートやプリント等に記録し、学習内容を理解すること。

家庭学習では教科書の基本問題をくり返し復習することによって理解し、応用問題にも挑戦する。

校長	教頭

令和3年度 数学「基礎数学A A（2年選択）」 シラバス

教科名 : 数学	科目名 : 基礎数学A A
使用教材 : 数学 I	単位数 : 2 単位
履修学年 : 2 年 (選択)	履修学科 : 全学科 (選択)
担当 : 平良 樹	

教科目標

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

本学年の学習概要

1. 数と式
2. 二次関数
3. 三角比
4. 集合と論証
5. データの分析

評価の観点及び方法

観 点	到 達 目 標	評 価 方 法
関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	出席状況 授業態度、発表 授業プリントや ノートの状況
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	練習問題 定期考査 小テスト
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解	数学における基本的な概念、原則・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

授業展開

2年全学科、選択授業

学習方法

授業の内容をしっかりとノートやプリント等に記録し、学習内容を理解すること。

家庭学習では教科書の基本問題をくり返し復習することによって理解し、応用問題にも挑戦する。

校長	教頭

令和3年度 数学「数学A（3年）」 シラバス

教科名 : 数学	科目名 : 数学A
使用教材 : 改訂版 新高校の数学A(数研出版)	単位数 : 2単位
履修学年 : 3年	履修学科 : 全学科
担当 : 新垣節子 吉本振一郎 平良樹	

教科目標

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目目標

場合の数と確率、整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

本学年の学習概要

1. 場合の数と確率

場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。

2. 整数の性質

整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。

評価の観点及び方法

観 点	到 達 目 標	評 価 方 法
関心・意欲・態度	数学的活動を通して場合の数と確率、整数の性質における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	出席状況 授業態度、発表 授業プリントや ノートの状況
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、場合の数と確率、整数の性質における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	練習問題 定期考査 小テスト
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解	数学における基本的な概念、原則・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

授業展開

各学科一斉授業

学習方法

授業の内容をしっかりとノートやプリント等に記録し、学習内容を理解すること。

家庭学習では教科書の基本問題をくり返し復習することによって理解し、応用問題にも挑戦する。

校長	教頭

令和3年度 数学「基礎数学BB（3年選択）」 シラバス

教科名 : 数学	科目名 : 基礎数学BB
使用教材 : 数学I	単位数 : 2単位
履修学年 : 3年(選択)	履修学科 : 全学科(選択)
担当 : 吉本振一郎	

教科目標

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

本学年の学習概要

1. 数と式
2. 二次関数
3. 三角比
4. 集合と論証
5. データの分析

評価の観点及び方法

観 点	到 達 目 標	評 価 方 法
関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	出席状況 授業態度、発表 授業プリントや ノートの状況
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	練習問題 定期考査 小テスト
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解	数学における基本的な概念、原則・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

授業展開

3年全学科、選択授業

学習方法

授業の内容をしっかりとノートやプリント等に記録し、学習内容を理解すること。

家庭学習では教科書の基本問題をくり返し復習することによって理解し、応用問題にも挑戦する。